

事業概要書

事業名	台風 19 号おたがいさま・バスプロジェクト				
開始日	2019 年 10 月 25 日	終了日	2019 年 11 月 30 日	日数	37 日
団体名	被災地 NGO 協働センター				
(カウンターパート)	チーム中越				
担当者名	村井雅清	スタッフ人数	2 人		

事業費総額 (税込)	300,000 円
CF 事業枠	300,000 円
その他資金	0 円

事業目的	台風 19 号の被災地へ近隣地区からボランティアバスを送り出す	
事業全体の概要	<p>●被災地 NGO 協働センターとは</p> <p>阪神・淡路大震災以来、さまざまな国内災害に対応してきたボランティア団体。被災地、被災者に寄り添い、中長期的な復興支援まで見据えた支援を行なっている。「最後の一人まで」「一人ひとりに向き合う」ことをモットーとして活動を行なっている。</p> <p>●取り組むべき課題</p> <p>令和元年台風 19 号は、広範囲にわたり大きな被害をもたらしている。1ヶ所ごとの災害規模も甚大であり、かつ広域であるため、各地に必要なボランティアが不足している状況が続いており、新潟や長野県内の被害を受けていない地域などから継続してボランティアが活動に向かうことが必要である。</p> <p>●パートナー協働プログラム対象事業</p> <p>①ボランティアバス事業</p> <p>新潟や長野県内の別の市町村など被災地近隣からボランティアバスを送る。</p> <p>2回/月 程度でボランティアバスを実施する。</p> <p>バスの出発地は近隣の駅から各回 15 名～30 名を想定。</p> <p>バス会社などのマイクロバスもしくは、中型バスで運行予定。</p> <p>●期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣からのボランティアバスによるボランティアの確保 ・定期的にボランティアを送り出すことで、現地の片付けや復興の促進の一助となる 	
	事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)	裨益者 (誰が、何人)

<p>①ボランティアバス事業 新潟や長野県内の別の市町村など被災地近隣からボランティアバスを実施。</p>	<p>長野県内の被災者 ボランティア（20人× 2台＝40人）</p>